



まちスポ飛騨高山

イベントレポート

キャッシュレス相談会 NPO・市民団体向けキャッシュレス相談会

いろいろな活動や運営の集金が大変...という皆様の声にお応えし、飛騨信用組合主催による“電子通貨を活用して、より効率的な「会費徴収」や「寄付集め」等にご活用いただくための相談会”がまちスポ飛騨高山で開催されました!

環境系の活動をする団体や子育て支援団体など様々な団体が参加されました。

皆様からは「すでに導入はしていたけど、現金・クレジットカード以外にも電子通貨での選択肢が増えました!使う方もいいし、私達も手数料が抑えられた分、活動に使えるのでありがたいです!」「地域循環という私達の活動趣旨と地域電子通貨の意義が同じで、これから具体的に進

んでいきそうで良い機会でした。」との感想が寄せられました。次回、開催も決まり次第お知らせします。



開催日:2021年4月16日(金)
主催:飛騨信用組合 参加人数:5団体(6名)

皆様の温かいお気持ちが集まりました! 募金箱回収&設置報告

2020年度は豪雨災害、コロナ等今までに体験したことのない大変な一年でした。

しかしそんな中でも、なんとこれだけのたくさんの募金が集まりました!!募金箱設置に15か所の事業所の方にご協力いただき、総額19,882円の募金をいただきました!ご協力くださったすべての皆様に感謝申し上げます。

皆様お一人お一人の温かいお心遣いを受け取らせてい

ただき、感謝の気持ちで心までも温かくなりました!集まった「想いのこもった志あるお金=志金」を、これから地域の皆様の為に、“まちスポ飛騨高山助成金”等に使用させていただきます。

今後、募金の使い道もお知らせしていく予定です!!皆様、本当にありがとうございました!



新しいカメラを買ってウキウキ!
加藤



息子が中学生に。楽しそうで何より
板屋



二ホンカモシカに良く出会う
五十嵐

4月のホームページ更新

<http://machispo.org>



●2021年4月まちスポ飛騨高山イベント情報
<http://machispo.org/202104/>

●寄付方法 さるぼぼコインが追加
<http://machispo.org/donation/anydonation/>

●まちスポ飛騨高山利用についての手引き(更新)
machispo.org/wp-content/uploads/2021/04/coronaguideline20210419.pdf

さるぼぼコイン クレジットでの賛助会員入会が可能になりました!

詳しくはこちらをご覧ください!
<http://machispo.org/donation>

活動を応援して下さる方を募集しています。

納入先

郵便振替 00840-9-183216 特定非営利活動法人まちづくりスポット
飛騨信用組合 松泰寺支店(普)0793442 特定非営利活動法人まちづくりスポット
高山信用金庫 駅西支店(普)0166788 特定非営利活動法人まちづくりスポット

♡個人年会費 1口 ¥3,000
♡法人年会費 1口 ¥5,000

子育て支援 ネットワーク構築事業

飛騨地域
オンライン

まちスポ飛騨高山

子育てママの「困った…」の声を拾い一緒にケアして下さる『びい・ぼおサポーター』を大募集中です。



NPO法人飛騨高山わらべうたの会と当法人が連携して取り組む「オンライン子育て支援ネットワーク構築事業」の一貫で実施します。

昨年豪雨災害やコロナ禍で、たくさんの子育て家庭が孤立した背景を受け、非常時にも機能する子育て支援体制を作っていくために立ち上げました。

日本一広い高山市で、地域で既に子育て支援をしている方と連携する事、そして、これからこの活動を一緒に活気づけてくれる同志を発掘してく事がとても大切です。

空いた時間に託児のお手伝いをしてくれる方や一緒に地域ぐるみの子育て支援環境を作りたい方を募集します。現在、まちづくり協議会や子育て支援団体にご案内した他、市内各施設にチラシ設置を依頼し、市民の方々へ協力の呼びかけをしています。

びい・ぼおサポーターにご登録いただいた方は、子育てのスペシャリストが講師を務めるセミナーを無料で受講できます。対面・オンラインを選んで参加できる他、サポーター限定で後日配信も行う予定です。

地域ぐるみの子育て支援『びい・ぼおサポーター』に登録してみませんか?

問い合わせ先

NPO法人飛騨高山わらべうたの会(受託事業者)

0577-57-8577

NPO法人飛騨高山
わらべうたの会に
ぜひお問合せください。



詳しくはこちらのHPをご覧ください!

2021年5月15日発行(通巻87号)

発行:認定NPO法人 まちづくりスポット 発行者:竹内 ゆみ子 編集:五十嵐 浩子

〒506-0025 岐阜県高山市天満町1-5-8フレスポ飛騨高山内 TEL 0577-62-8550

FAX 0577-62-8580

info@machispo.org

事務局休館日:毎週火曜(火曜祝日の場合は水曜日)・年末年始

飛び出せ★元気市民
とやま



富山傾聴ボランティア・ピアの会

まつおか せつこ
松岡 節子さん

笑顔・アイコンタクト・相づち・うなずき
四つ葉のクローバー
幸せを運ぶ

一話し手が主役 最近では福祉の現場等で、よく耳にするようになった「傾聴」。富山傾聴ボランティア・ピアの会は、まだ富山で「傾聴」という言葉が聞き慣れない頃から活動し、先駆けとなった団体。今回は、ピアの会会員であり、まちなかサロンで開設当初から月2回、傾聴ボランティア活動をしている松岡節子さんに取材させて頂きました。

話し手が主役

松岡さんと「傾聴」の出会い、2002年に社会人大学院で心理学を勉強した時。2007年に富山県社会福祉協議会が企画した養成講座を受講し、傾聴ボランティアになりました。

「傾聴」で一番大切なのは、「話し手」と「聴き手」が対等な関係であり、たとえ相手が幼い子どもや老いた年寄りであっても、上から下の関係ではない事だそうです。「話し手」が主役であり、「聴き手」は、自分の価値観や主義等を一旦、脇に置いて、最後まで肯定的に聴かせて頂きます。気を付けている事は、①助言しない②結論を出さない③説教しない④自分の考えを押しつけない。受容的な態度「笑顔・アイコンタクト・相づち・うなずき」の4つを「幸せを運ぶ四つ葉のクローバー」に例えています。傾聴後は、労いの言葉で共感的理解をし、最後は感謝の言葉を伝えるようにしているそうです。介護や看護の福祉医療の現場だけでなく、会社内、家族内、友人や隣近所…あらゆる場面で必要だと感じ、「人間は感情の動物なので、怒ったりするのは当たり前。もし誰かに否定的な事を言われても、プラス思考で相手の気持ちを別の角度で肯定的に受け止める事が大切」と話されます。

「泣いてもいいんですか？」

特に印象的で忘れられないのは、産まれる前から男性でなければならず、家族に存在を全否定され、愛情を十分に受ける事のできなかった女性。聴かせて頂くうちに、

松岡さんはその方の立場になり辛く泣いてしまう程。すると、女性の目から雫1粒。40年以上泣いた事がない方の初めての涙と出てきた言葉は「これ、涙ですか？…私、泣いてもいいんですか？」松岡さんの「泣いてもいいんですよ。よく頑張ってくださいね！」温かい声かけに抱き合い一緒に泣いた後は別人のような印象で、足早にご主人のところへ帰られました。

もう1人は、国から難病指定され車いす生活で一人暮らしの方。電話を持つのもやっとでしたが、電話で傾聴してもらった事で、病の進行で長年作る気になれなかった俳句を作るまでに。松岡さんは俳句を聞かせてもらう事が嬉しく、その方は俳句を聞いてもらえる人がいる事に喜びを感じていました。それから俳句を聞かせて頂くやりとりは1ヶ月に数回のペースで続き、誰かが寄り添う事の大切さを学びました。

これからも続けられる限り、活動を続けていきたいと、ニコニコ笑顔が印象的な松岡さん。コロナ禍により現在は、電話対応による傾聴もあるそうです。あなたも松岡さんに傾聴してもらってみては？

(まちスポサポーター 大志多 恵子)



富山県まちなか総合ケアセンター 1階の交流スペース「まちなかサロン」では月2回程度活動。飛沫防止パネルを設置し、会のメンバー数人と訪れる方の話し相手になっている。

ご連絡はこちらまで

▼まちスポ飛騨高山

〒506-0025 岐阜県高山市天満町1-5-8(フレスポ飛騨高山内)
TEL: 0577-62-8550 FAX: 0577-62-8580
E-mail: info@machispo.org HP: http://machispo.org

▼まちスポとやま

〒930-0083富山県富山市総曲輪4丁目4-3(総曲輪レガートスクエア内)
TEL: 076-461-3332 FAX: 076-461-3359
E-mail: toyama@machispo.org HP: http://machispo.org



富山県元気づくり
オンラインサポート事業 実施期間 2020年12月～2021年5月 まちスポとやま

オンラインを活用しシニア層の活動範囲を広めること、地域住民がオンラインを使ったサービスを受けやすくするためのサポートを目的とした事業。サポート先は行政、医療介護事業所、任意団体、個人などです。



「セダウ」リテラシーUPプロジェクトIN富山県
～広げるために語り合おう～

日時: 2021年4月18日(日) 9:30～11:30

主催: NPO法人 Nプロジェクトひと・みち・まち 参加者: 15名

内容: 高岡市で、富山と名古屋から参加のNPOがオンラインで連携して、セダウ(女性差別撤廃条約)を生活で活かし広げるためのワークショップを開催し、そのサポートをしました。会場でzoom初挑戦ができた参加者もいました。コロナ禍でも、ゆるやかなネットワークができていく兆しが見えた企画になりました。



シニアのすまほきょうしつ ～まちなかオンラインまち歩き～

日時: 2021年4月28日(水) 14:00～14:45

主催: 認定NPO法人まちづくりスポット まちスポとやま 参加者: 20名

内容: スマホを使いこなせなかったシニア8名が、zoomを使ってまち歩き！2020年12月より毎週1回集まって、オンラインツールを練習してきた成果を発信しました。「世の中に取り残されていくようで寂しい」と当初話っていたシニアたちが、ジンバル片手に自分の町を紹介しました。

わくわくレガート

プリームの

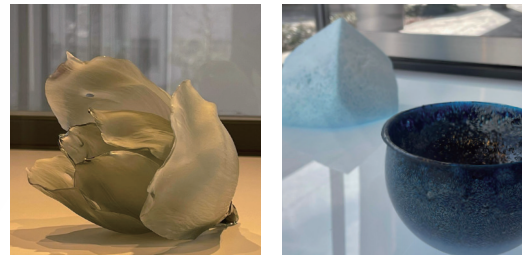
まちスポとやま サブコーディネーター
ワンララック・サンピブーン
Wanlalak Sanphiboon

タイ出身の留学生在が/
総曲輪レガートスクエアの魅力レポート!

サワディーカー！プリームです。富山に来て2年目の春です。冬の大雪には本当に驚きました。さて、総曲輪レガートスクエアの貫通通路に展示されている富山ガラス造形研究所の作品をご存じですか？「ガラスの街とやま」には、まちなかのあちらこちらに作品が。こちらは半年に一度入れ替えられています。今回はその新作をレポートしたいと思います！2020年秋に行われたワークショップからの作品とのこと。「青」が印象的なガラス作品が多いと感じました。冷たい色を使っているのにどこか暖かい気持ちになるのが不思議。富山を訪れたら、ぜひレガートスクエアを散歩しながら、作品をお楽しみください。



←秋の夕暮れを思わせるような作品です。



富山大学の留学生。好きな季節は春です。私の故郷は季節が二つしかないで、富山の四季の移り変わりを楽しんでいます。